

質問事項

- ◆多様性を前提とした上で、子どもを産みやすく、育てやすく、暮らしやすいまちづくり
- ◆市の雇用政策
- ◆よりアクセスしやすい投票制度・選挙制度の確立
- ◆新型コロナウイルス感染症対策と今後に向けた準備

かとう ゆうた 議員

加藤裕太

子ども支援・子育て支援を政策の真ん中に



質問事項

- ◆おみがわこども園施設の無償譲渡
- ◆東海第二原発再稼働に係る「避難計画」
- ◆佐原駅周辺地区複合公共施設の管理

根本義郎

ねもと よしろう 議員

おみがわこども園「運営費(精査額)」を、会期中に提示できなかったのか



「運営費(精査額)」が固まったのは、いつの時点か

問 3月2日の一般質問で「運営費」の精査が明らかになったが、その金額が固まったのはいつの時点か。

答 検証により数字が固まったのは、3月定例会最終日の数日前でした。その時点で担当部課へ報告しており、その後の対応については、担当部課で行うものと判断しました。

問 議会運営は「一事不再議の原則」から、会期中に完結するルールがある。市長から担当課への指示はなかったのか。

答 当案件の窓口は、当初から担当部課となりますので、担当部課から説明することについて、特に指示はなく、担当部課からお伺いした経緯もありません。

東海第二原発の広域避難計画の実効性はあるのか

問 大洗町の避難者最大約8700人を受け入れる香取市の体制について、本市の防災計画上に、この協定内容がどこまで具体的に盛り込まれていますか。



香取市地域防災計画

問 兵庫県明石市など、給食費や医療費、その他子育てや教育にかかる費用を無償にする施策を行い、人口増・出生率増につなげている自治体もある。香取市では検討されているか。

答 学校給食費の無償化や子ども医療費支援事業の充実のほか、地域やサークル活動などを通じて脱孤育ての取り組みを具体的に進めるなどの子育て支援策を展開していきます。

問 子ども支援・子育て支援に関する所得制限について、香取市の考え方は。

答 令和3年度に実施しました子育て世帯臨時特別給付金については、所得制限を撤廃し市独自に給付金を支給しました。可能なものであれば、所得制限は設けずに事業を実施していきたいと考えています。

公平・公正な選挙の確実な執行を

問 香取市長選挙の執行について、どのように評価しているか。

答 開票については、分類機の導入など効率化を図ったことにより、前回と比較し、36分短縮することができました。今後の課題としては、近年、増加傾向にある期日前投票の混雑時対応など、さらなる改善も必要であ



市長選挙における期日前投票の様子

答 地域防災計画の本編に記載はないが、資料編の災害時協定一覧の中に協定の名称や概要などを記載しています。

問 協定締結後、避難計画について、大洗町からの情報提供はあるのか。

答 大洗町との間で、担当レベルにおいて、現在、避難計画の進捗状況などについての情報共有を行っています。

問 複合公共施設「コンパス」のこれまでの「公民館機能」をなくすとは、どのような内容になるのか。

答 施設の目的、整備方針は、子どもからお年寄りまであらゆる世代の交流の場を設け、市民の交流、つながりを高めるとともに、佐原駅周辺地区の活性化を図る施設としており、利用目的や実施事業などが限定されることなく幅広い利活用を可能とするため、これまでの公民館利用者に加え、若い世代の方の会食、商業目的などの利活用を可能としています。

問 「コンパス」内の子育て世代支援施設の機能はどのようなものか。また、職員数は何人程度配置予定か。

答 児童書架の配置や大型遊具等を設置した多目的広場など子どもたちが雨の日でも遊べる施設としています。また、子どもの一時的なサービスを実施します。配置職員数は、常時3名程度の予定です。

ると認識し、引き続き投票環境の向上を目指して検討を進めていきます。

問 年代別の投票率など選挙に関するデータを公表することは検討しているか。

答 年代別の投票率については、啓発を進めていく上で関心のある情報と思われるため、投票率のデータ集計と公表に向け、検討をしていきます。

感染症対策の徹底とその先を見据えた準備を

問 新型コロナウイルスワクチンの4回目接種はどのように進める予定か。

答 5月25日から接種が可能となり、3回目接種が完了した日から5カ月が経過した方のうち、60歳以上の方と18歳以上で基礎疾患を有する方等が対象となります。市においては、順次対象者へ接種券を送付し、各医療機関における個別接種と集団接種の両方により接種を進めていきたいと考えています。

問 香取市が関係するイベント等の開催について、今後どのような対応を取っていくのか。また、今年度中に行われる予定のイベントは。

答 国の基本的対処方針および県の基本的な考え方に沿って対応していきます。今後の主なイベントについては、8月18日から21日まで、さわら町並み竹灯りなどが開催予定となっています。